

# 地籍問題研究会

## 第13回定例研究会のお知らせ

地籍問題研究会では、このたび、第13回定例研究会を下記の日程にて開催するはこびとなりました。

■ **日時** 平成27年7月25日(土)13:30～

■ **会場** 明海大学浦安キャンパス 講義棟2201教室(千葉県・浦安市)

■ **テーマ** 人口減少高齢社会と土地境界管理

協力:千葉県土地家屋調査士会

■ 13:00-13:30 受付

■ 13:30-17:40 地籍問題研究会・第13回定例研究会

13:30-13:35 主催者挨拶・趣旨説明

阪本一郎氏(明海大学、当研究会幹事)

□ **第1部 人口減少高齢社会における不動産管理・境界管理のあり方**

■ 基調講演

13:35-14:35 「人口減少高齢社会と不動産管理」

報告者 吉原祥子氏(東京財団、当研究会幹事)

■ 報告 境界管理制度の現状と課題

14:35-14:55 ①「境界管理制度の現状」

報告者 奈良橋達也氏(千葉県土地家屋調査士会理事)

14:55-15:15 ②「境界管理制度の課題と今後」

報告者 田中浩史氏(千葉県土地家屋調査士会社会事業部長)

(休憩)

□ **第2部 今日の境界紛争解決方法の課題と展望**

■ 報告

15:45-16:15 「筆界特定制度の運用実態と課題」

報告者 齊藤秀樹氏(千葉地方法務局不動産登記部門統括登記官)

16:15-16:55 「10年を迎えたADRの運用実態と課題」

報告者 久保田英裕氏(境界問題相談センターちばセンター長)

16:55-17:25 「境界紛争解決方法の選択と制度間連携の可能性について」

報告者 草鹿晋一氏(京都産業大学、当研究会幹事)

諸連絡(17:40終了予定)

◆ 傍聴について ◆

本研究会につきましては、一般傍聴は資料代を含めて3,000円をいただきます。